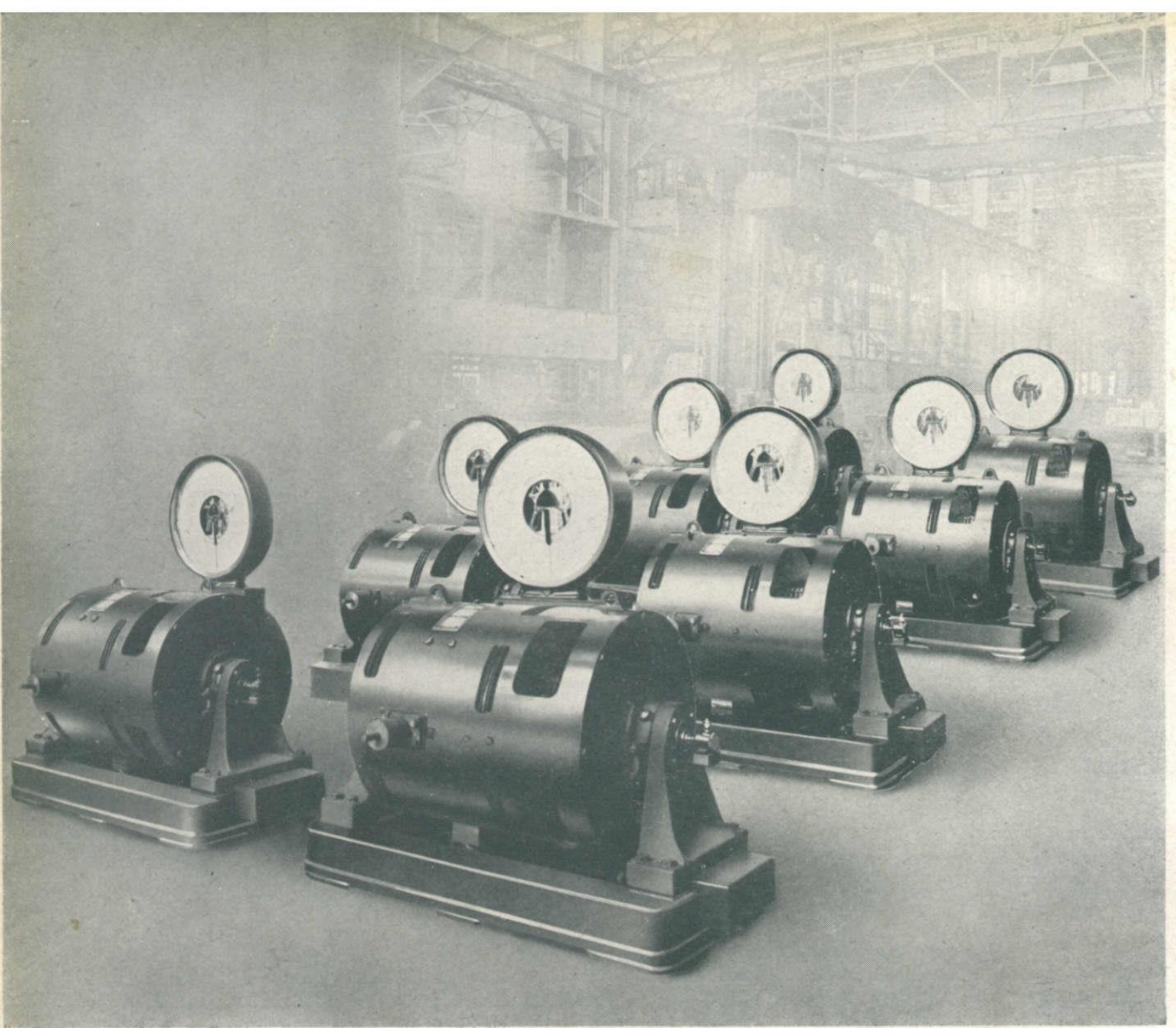


本邦最初の電鐵用 3,000 V 2,000 kW 水銀整流器

過般來銳意製作を急いでゐた 朝鮮總督府鐵道局註文に係る電鐵用 3,000 V. 2,000 kW. 水銀整流器○臺が此程完成した。本整流器は二臺を交鎖接続として一方を整流器、他方をインバータに使用し、電力回生制動を行ひ得る如く計畫されてゐるもので、定格電壓は 3,000 V. 出力は整流器としては重負荷公稱定格 2,000 kW. 即ち 667 A. 連続、1,000 A. 2時間、2,000 A. 1分間、インバータとして重負荷公稱定格 1,000 kW. 即ち 333 A. 連続、500 A. 2時間、1,000 A. 1分間である。

直流電壓 3,000 V. の採用、並びにインバータに依る 回生制動方式の採用は何れも本邦最初の試みであつて、斯かる技術上の大問題に對し實施の機會を與へられたる朝鮮鐵道局の進取的御英斷に感謝すると共に、當社整流器が斯かる技術的要求に應ずることを得たるを誇とするものである。本整流器の制御其他には種々の新しき方式が採用されており、目下色々と試験を施行中である。其等の詳細に關しては追つて本誌上に發表の機會があると思ふ。



新形直流電気動力計

上圖は某研究所へ納入した航空發動機單氣筒試驗用電気動力計にして、定格は 100 HP. 440V 4000 RPM である。從來の電気動力計とは異り秤量器は自動秤を採用し且つ全秤量の二千分の一まで直接容易に讀み得る如き特殊な目盛板を附してある。尙圖には示されては無いが繼鐵と秤との連結機構は左右何れの回轉方向にも測定し得る構造を有する事は勿論である。特筆すべき事は繼鐵の移動角が非常に少い事である。

以 上



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。